

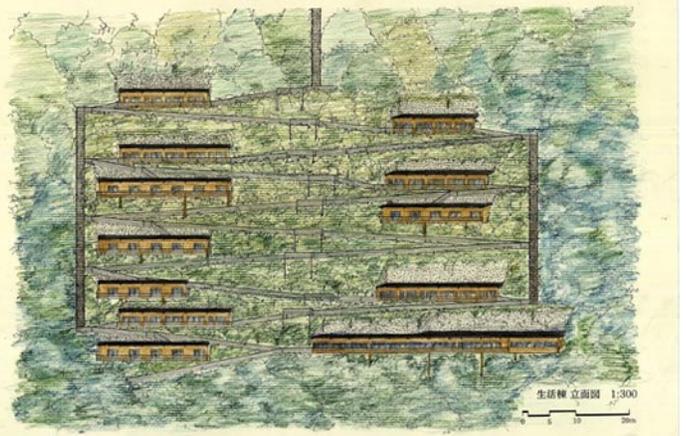
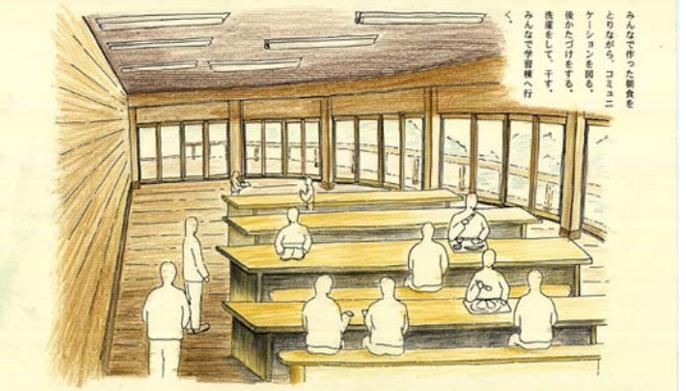
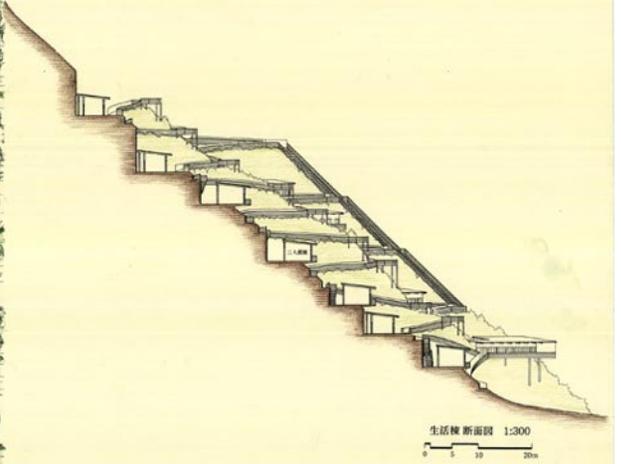
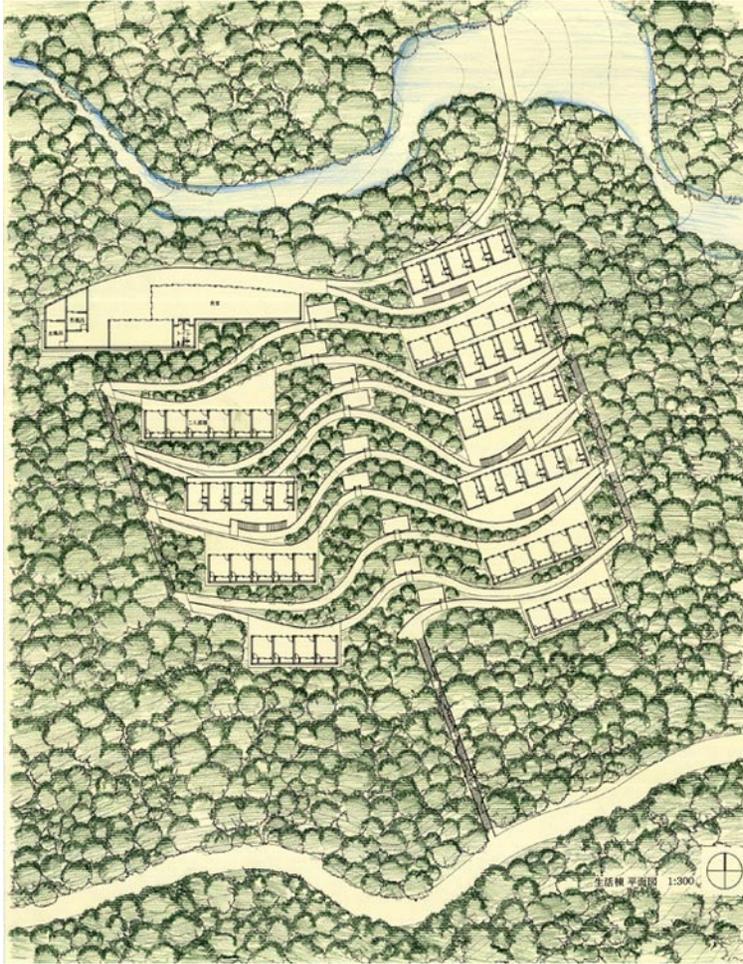
# たなだづくり



# 家—生活棟

有機的な地形に対して、無機的な長方形の建物がはまり込んだ状態をとっている。このことは子供たちにとって秘密基地のような雰囲気を作り出し、大人に干渉されない場所を形成している。各部屋はすべて2人部屋になっており、24時間共同生活を営むことにより、人間関係の大切さを知ることができる。

また、ここは子供たちが生活するために最低限の機能しか入っており、生活するという厳しさ・難しさを知り、お互いに助け合う精神を持つことができる。





# 社会—作業棟

ゆるやかな傾斜地に対して、それぞれの部屋が異なるレベルで建っているが、外部は段がなく一つにつながっている。子供たちが農作業をするための拠点であると共に、田圃開墾や収穫などのイベント時に利用できる広場と野外劇場、調理場があり、社会とのつながりをもつ。農作業やイベントなどの共同作業を通じて、子供と大人がコミュニケーションを図り、知恵を学び、実際に体験することができる。

子供の時、見た記憶いたしたことは忘れてしまうが、実際の体験は忘れずに心に残り、後の財産となるであろう。

